

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹腔鏡下胃全摘術における SSI 予防対策と成績の検討
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2000年1月1日～2020年12月31日までの間に当院で胃全摘の手術を受けられた方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>手術時の創部感染（surgical site infection：SSI）は入院期間を延長させる要因になるといわれています。また、腹腔鏡手術は傷が小さく創部の感染も少ないと言われてはいますが、その正確な頻度や予防法はまだはっきりとはわかっていません。そこで当院で行われている腹腔鏡下胃全摘術（LTG）における予防対策を報告し、その成績を開腹胃全摘術（OTG）と比較することで腹腔手術が SSI 減少させるかなどを検討します</p> <p>研究期間</p> <p>「医学研究科 人を対象とする研究などに関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから 2021 年 10 月 31 日まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>年齢、性差、ASA スコア、郭清リンパ節個数、手術時間、出血量、血液検査結果、創部感染の有無、術後在院日数、病理組織学的検査結果 並存疾患の有無、SSI 以外の合併症</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座 消化器・一般外科部門） 研究責任者：伊達 博三

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541